



南雲正美

# どうする 湯沢温泉ロープウエー事業所

**質問**

湯沢温泉ロープウエー事業所の経営について。

平成16年度の観光事業会計はロープウエー建設債と営業赤字で約3億5千万円が一般会計から助成されており、今後の事業経営は厳しい状況が続くとも予想される。

昨年は大水害・大地震による風評被害を受けて、厳しい営業状況の事実は否めないが、近年の観光客減少が止まらない、などから赤字経営は避けられない。公的経営は限界であり、民営化経営手方しかないと考えます。

今年4月以降、町執行側5名と議員5名の計10名で経営改革について検討中ですが、民間経営公募、又は公設民営、旧山古志村の村民株主での災害復旧など多数方法があります。執行責任者町長の積極的かつ、抜本改革の姿勢をどのように示されるのか伺います。

**町長答弁**

町と議員10名で改革に向けて5回検討会を開催し、

一

般

質

問

大方では民営化の方向が出され、今後どのようにすべきか検討していく。18名の町職員の処遇等もあるのが、今すぐ実施は無理であるが、検討委員会で結論を出したい。

**質問**

湯沢中里スキー場及び土樽スキー場の売却撤退のマスコミ報道に関する町の考えについて。

町は4月20日に存続対策協議会を発足した。町長は冒頭の挨拶で、マスコミ報道が事実とすれば、我が町と近隣市町村に対して、経済と雇用面で計り知れない影響が出るので厳粛に受け止めて対応しなければならぬと挨拶された。

5月24日の協議会で、署名行動が協議決定された。経過報告では湯沢中里スキー場については来シーズン営業する事は決定していると報告された。

来シーズンの営業成績が存続可否かの厳しい判断となる事が予想される。

地元の古野中里三区と湯沢中里観光協会では、何を

企画して誘客すべきか一生懸命に取り組み検討中であります。

町は町で出来る事として何をすべきか考えていきたい。

15年9月議会の一般質問で、上越線水上駅での全列車乗り換えを廃止して、高崎と長岡間の直通運行の質問をしたが、実現に努力していただきたい。

冬季臨時列車の増発及び春夏秋のイベント列車の企画は町が中心で出来ないか、町全体の観光施設ゴルフ、パーク3、湯沢高原、登山、フィッシングパーク、春の山菜狩り、秋のきのこの狩り体験ツアー、体験工房を取り入れた企画で臨時列車は可能と思うが町長の考えを伺います。

**町長答弁**

水上駅乗り換えと冬季臨時列車増発は関係市町と協議を進めるが、企画列車は地元で計画し町に上げてほしい。

**質問**

指定管理者制度実施に伴う町の対応について。

18年9月法改正により指定管理者制度が導入されて、湯沢町都市施設公社はスポーツ公園の施設管理委託を町から直接受ける事が出来なくなり、民間参入の見積もり競争となる事から、公社の存続は厳しくなるが考えを伺います。

**町長答弁**

公社の厳しくなる事について今後対応を考えなければならぬと思っている。



都市施設公社管理の中央公園テニスコート